

「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート (A: 裁量有)

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称	災害対策事業費【自主防災組織強化事業】							
予算科目	款 9 消防費 項 1 消防費 目 4 災害対策費	事業番号	1					
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	防災安全 課 災害・防犯 係				課長名	伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4-6		
【施策名】防災・防犯体制の推進					総合計画書 (ページ)	93		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民			人口(令和3年4月1日現在)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域で自発的に防災活動を行える体制を整える			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 自主防災組織の数				
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 自治会等で開催する防災訓練等の支援及び防災講話 を実施することで、市民の防災意識を高め、自主防災組織結成について促した。 自主防災組織が活動するうえで必要とする資器材 (ヘルメットや担架等)の貸与について、自主防災組織結成を検討している団体へ紹介した。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①自治会等に対する防災講話件数 ②自治会、協議会、市民団体等が実施した防災訓練参加(訓練使用物資の提供含む)件数 ③防災資器材貸与件数				
	対象指標	①の数値	団体	41	41	85,294		
	成果指標	②の数値	団体	0	0	41		
3 経費	目標	②の目標値	団体	2	2	43		
	目標値設定の考え方 東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略(補正版)で定めた目標の43団体以上とする。							
	活動指標	③の数値	円	①11 ②36 ③0	①2 ②0 ③0	①4 ②15 ③0		
4 環境変化等	事業費(実績)		円	415,800	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	415,800	0		0
		特定財源(国・都・他) (うち受益者負担)		円				
	人件費 (自安)	所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3		0.3
		所要人数(再任用)		人				
	職員人件費(再任用以外)		円	2,493,000	2,514,000	2,475,000		
	職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	2,908,800	2,514,000	2,475,000			
(1) 開始年度		平成17年度						
(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は市民活動に直接寄与する事業であることから、その目標や成果を分かりやすくするために、前年度から対象指標を「自主防災組織」から「人口」、成果指標を「団体増加数」から「自主防災組織の数」に改めた。 東日本大震災をはじめとする近年の地震災害や激甚化する風水害等の発生により、市民の防災意識は高まりつつあり、自助・共助に対する理解も徐々に広がってきている。 						

事業名称	災害対策事業費 [自主防災組織強化事業]				
担当部署・課長名	防災安全	課	災害・防犯	係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 台風等が接近した場合の浸水リスクや災害への備えに関し多くの关心があり、各地域の防災講話に職員が出向いた際、市内の浸水予想区域や土砂災害警戒区域等、家庭で出来る備蓄等について、情報提供をしている。				
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
6 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法 : ⑥情報提供 ⑦後援・場の提供 ⑧その他(支援) 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
		(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え方」「気付いた」点 引き続き防災訓練等での支援を通じて、市民の防災意識の向上を図る必要がある。また、防災意識が比較的低い団体や活動が希薄な団体については、市が適切な助言・指導をすることにより、組織の質を底上げする必要がある。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応しつつ、実施以外でも支援の方法を検討し、地域で支えあうことの重要性について啓発を行っていく必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応するため、自主防災組織等の防災訓練については、規模の縮小や時間の短縮等を促し、例年どおり実施できた組織もあった。また、自主防災組織依頼から依頼を受けた防災講話についても、規模の縮小や時間の短縮等を促し開催できた組織もあった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応しつつ、実施以外でも支援の方法を検討し、地域で支えあうことの重要性について啓発を行っていく必要がある。				
	8 施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名: 防災・防犯体制の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 引き続き新型コロナウイルス感染症防止に配慮する必要はあるが、各自主防災組織の構成員の年齢・性別等を考慮し、自分たちで何ができるかということを考えてもらう場の提供を継続していく。 自主防災組織の結成について、積極的に自治会等の市民団体へ働きかける。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応しつつ、実施以外でも支援の方法を検討していく必要がある。 訓練や講話等を通じて、組織と市が互いの考え方について歩み寄ることが必要である。 各団体それぞれの活動状況について、市が把握し、必要な助言を行えるようにする。				